



Cisco Nexus 3000 シリーズ スイッチおよび Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチのスマート ソフトウェア ライセンシング

この章では、スマートソフトウェア ライセンシングの機能の概要を示し、Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチおよび Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチの登録および認証を完了するために必要なツールとプロセスについて説明します。

- [スマートアカウントのセットアップ \(1 ページ\)](#)
- [スマート ライセンスへの従来のライセンスの変換 \(3 ページ\)](#)
- [従来のライセンスのスマート ライセンスへの変換—DLC \(デバイス主導変換\) \(4 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシング用の Smart Call Home の設定 \(6 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの設定 \(8 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの確認 \(9 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの確認の例 \(10 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの設定の例 \(14 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの使用例 \(15 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングのその他の参考資料 \(17 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの機能の履歴 \(17 ページ\)](#)

スマートアカウントのセットアップ

このセクションでは、スマートアカウントの要求とアカウントへのユーザーの追加について説明します。

スマート アカウントの要求

スマートアカウントの要求は、1 回限りのプロセスです。それ以降のユーザ管理は、ツールを使用して提供される機能です。

Before you begin

Cisco ログインがあることを確認します。

ステップ 1 <http://software.cisco.com> に移動して、アカウントにログインします。

ステップ 2 [Administration] セクションの [Request a Smart Account] リンクをクリックします。

ステップ 3 アカウント承認者を選択するには、次のいずれかを実行します。

- 承認者として自分を選択するには、[Yes, I will be the Approver for the account] オプションをクリックします。
- 承認者として第三者を選択するには、[No, the person specified below will be the Approver for the account] オプションをクリックし、その人物の電子メール ID を指定します。

Note 指定した承認者には、合意する権限が必要です。承認者は第一所有者の役割を務め、アカウント管理者を任命します。

ステップ 4 承認者のタイプに応じて、次の手順の 1 つを実行します。

- 承認者の場合は、次の作業を実行します。
 - a. [Account Name]、[Company/Organization Name]、[Country]、および [State/Province/Region] の情報を入力します。
 - b. (任意) 通常はデフォルトのドメイン ID を使ってください。どうしても変更が必要な場合は、[Edit] をクリックします。
 - c. [Edit Account Identifier] ウィンドウで、有効な [Proposed Domain Identifier] および [Contact Phone Number] を入力して [OK] をクリックします。

Note デフォルトのドメイン ID は承認者の電子メール ドメインです。ドメイン ID を編集する場合、その変更は手動承認プロセスに進みます。

- d. [Continue] をクリックして、スマートアカウントにリンクされる正しい住所を選択します。

- 承認者でない場合は、次の手順を実行します。

- a. [Account Name] および承認者へのオプションの [Message] を入力します。
- b. (任意) 通常はデフォルトのドメイン ID を使ってください。どうしても変更が必要な場合は、[Edit] をクリックします。
- c. [Edit Account Identifier] ウィンドウで、有効な [Proposed Domain Identifier] を入力して、[OK] をクリックします。

Note デフォルトのドメイン ID は承認者の電子メール ドメインです。ドメイン ID を編集する場合、その変更は手動承認プロセスに進みます。

- d. [Continue] をクリックします。

- e. 送信される電子メールの手順に従って、要求を完了します。

スマート アカウントへのユーザの追加

スマート アカウント ユーザ管理は、[Cisco Software Central](#) の [Administration] セクションで使用できます。

ステップ 1 <http://software.cisco.com> に移動して、アカウントにログインします。

ステップ 2 [Administration] セクションの [Manage Smart Account] リンクをクリックします。

ステップ 3 [Users] タブをクリックします。

ステップ 4 [New User] をクリックします。

ステップ 5 [New User] セクションに適切な情報を入力します。

(スマートアカウント全体または特定のバーチャルアカウントを管理するためのロールを定義します。)

ステップ 6 [Continue] をクリックします。

スマート ライセンスへの従来のライセンスの変換

製品アクティベーションキー (PAK) に関連付けられた従来のライセンスは、License Registration Portal (LRP) を使用してスマート ライセンスに変換できます。[PAK/トークン] タブをクリックして、従来のライセンスにアクセスします。次に、この項の情報を使用して、PAK をスマート ライセンスに変換します。



(注) または、次のいずれかの方法を使用して、従来のライセンスをスマート ライセンスに変換できます。

- [スマート ソフトウェア マネージャ](#) にアクセスし、「スマート ライセンスへの変換」セクションの手順に従います。
 - Cisco Global Licensing Operations (GLO) または TAC にお問い合わせください。PAK とデバイスの詳細、およびライセンスを登録するスマート アカウントを指定する必要があります。
-

ステップ 1 <http://software.cisco.com> に移動して、アカウントにログインします。

ステップ 2 [License] セクションの [Traditional Licensing] リンクをクリックします。

LRP ウィンドウにリダイレクトされます。

ステップ 3 [Manage] で [PAKs/Tokens] タブをクリックします (まだ選択されていない場合)。

ステップ 4 [PAK/Token ID] チェックボックスをクリックします。

ステップ 5 [Actions] ドロップダウンメニューから [Convert to Smart Entitlements] を選択します。

ステップ 6 [Smart Account] ドロップダウンリストから、スマートアカウントを選択します。

(注) 自分に割り当てられているスマートアカウントのみ表示できます。

ステップ 7 [Virtual Account] ドロップダウンリストから、バーチャルアカウントを選択します。

(注) 自分に割り当てられているバーチャルアカウントのみ表示できます。

ステップ 8 [Assign] をクリックします。

選択した PAK がスマートライセンスに変換されます。

従来のライセンスのスマートライセンスへの変換—DLC (デバイス主導変換)

製品アクティベーションキー (PAK) に関連付けられた従来のライセンスは、CLI を使用してスマートライセンスに変換できます。

このタイプの変換は、デバイス主導型変換 (DLC) とも呼ばれます。



(注) 従来のライセンスモデルからポリシーを使用したスマートライセンス (10.2(1)) に移行すると、ライセンスの変換が自動的に行われます。従来のライセンスからスマートライセンス-DLC への手動での変換は、サポートされなくなりました。

始める前に

- スマートソフトウェアライセンスが有効であることを確認します。
- 有効なスマートアカウントがあることを確認してください。
- スマートアカウントに対して有効なユーザー権限があることを確認します。

ステップ 1 switch# license smart conversion start

従来のライセンスからスマートライセンスへの手動変換を開始します。変換はバックグラウンドで行われます。変換が成功するか失敗すると、システムログメッセージがスイッチのコンソールに表示されます。

ステップ 2 (任意) switch# license smart conversion stop

手動変換を停止します。

ステップ 3 (任意) switch# show license status

ライセンスの変換ステータスを表示します。ハイ アベイラビリティ (HA) 設定でアクティブ デバイスからこのコマンドを実行すると、HA 設定内のすべてのデバイスのステータスが表示されます。

スマート ライセンスへの従来のライセンスの変換 - DLC

次の例は、CLI を使用して従来のライセンスをスマート ライセンスに変換する方法を示しています。

```
switch# license smart conversion start
```

```
Smart License Conversion process is in progress. Use the 'show license status' command to check the progress and result.
```

次の例は、CLI を使用した従来のライセンスからスマート ライセンスへの変換を停止する方法を示しています。

次に、スタンドアロン デバイスのライセンス変換のステータスの例を示します。

```
switch# license smart conversion stop
```

```
stop manual conversion failed:
Some Smart Licensing Conversion jobs stopped successfully.
```

次に、スタンドアロン デバイスのライン変換のステータスの例を示します。

```
switch# show license status
```

```
Smart Licensing is ENABLED.
Registration:
Status: REGISTERED
Smart Account: Big-U University
Virtual Account: Physics
Export-Controlled Functionality: Not Allowed
Initial Registration: SUCCEEDED on Feb 24 23:30:12 2020 PST
Last Renewal Attempt: SUCCEEDED on Feb 24 23:30:12 2020 PST
Next Renewal Attempt: Apr 24 23:30:12 2020 PST
Registration Expires: Dec 24 23:30:12 2020 PST
```

以下には、Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降から適用される出力を示します。

```
Smart License Conversion:
Automatic Conversion Enabled: False
Status: SUCCEEDED on Jan 1 00:00:00 2020 UTC

License Authorization:
Status: AUTHORIZED on Mar 31 17:04:56 2020 UTC
Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Mar 31 17:04:56 2020 UTC
Next Communication Attempt: Apr 30 17:04:56 2020 UTC
Communication Deadline: Nov 29 16:58:31 2020 UTC
```

スマートソフトウェアライセンス用の Smart Call Home の設定

スマートソフトウェアライセンスを設定する前に、スイッチで Smart Call Home が有効になっていることを確認します。詳細については、ご使用の Cisco Nexus 3000 または 9000 シリーズ スイッチの『*System Management Configuration Guide, Release 9.3(x)*』の「Configuring Smart Call Home」の章を参照してください。

DNS クライアントの設定

始める前に

DNS クライアントを設定する前に、ネームサーバが到達可能であることを確認してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# ip domain-lookup	DNS ベースのアドレス変換をイネーブルにします。
ステップ 3	switch(config)# ip domain-name name [use-vrf vrf-name]	Cisco NX-OS が非修飾ホスト名を解決するために使用するデフォルトのドメイン名を定義します。また、このドメイン名を設定した Virtual Routing and Forwarding (VRF) でこのドメイン名を解決できない場合は、Cisco NX-OS がこのドメイン名を解決するために使用する VRF を定義することもできます。 Cisco NX-OS は、ドメイン名ルックアップを開始する前に、完全なドメイン名を含まないあらゆるホスト名にデフォルトのドメイン名を付加します。
ステップ 4	switch(config)# ip name-server address1 [address2... address6] [use-vrf vrf-name]	最大 6 台のネームサーバを定義します。アドレスは、IPv4 または IPv6 アドレスのいずれかです。 このネームサーバを設定した VRF でこのネームサーバに到達できない場合は、任意で、Cisco NX-OS がこのネームサーバに到達するために使用する VRF を定義することもできます。
ステップ 5	switch(config)# vrf context vrf-name	VRF を作成し、VRF コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	switch(config-vrf)# ip domain-name <i>name</i> [use-vrf <i>vrf-name</i>]	<p>Cisco NX-OS が非修飾ホスト名を完成させるために使用するデフォルトのドメイン名を定義します。このドメイン名を設定した VRF でこのドメイン名を解決できない場合は、任意で、Cisco NX-OS がこのドメイン名を解決するために使用する VRF を定義することもできます。</p> <p>Cisco NX-OS は、ドメイン名ルックアップを開始する前に、完全なドメイン名を含まないあらゆるホスト名にデフォルトのドメイン名を付加します。</p>
ステップ 7	switch(config-vrf)# ip name-server <i>address1</i> [<i>address2...</i> <i>address6</i>] [use-vrf <i>vrf-name</i>]	<p>最大 6 台のネーム サーバを定義します。アドレスは、IPv4 または IPv6 アドレスのいずれかです。</p> <p>また、このネームサーバを設定した VRF でこのネームサーバに到達できない場合は、Cisco NX-OS がこのネームサーバに到達するために使用する VRF を定義することもできます。</p>

HTTP を使用したメッセージ送信のための VRF の設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# callhome	Call Home コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	switch(config-callhome)# transport http use-vrf <i>vrf-name</i>	HTTP で電子メールおよび他の Smart Call Home メッセージを送信するための VRF を設定します。

Smart Call Home プロファイルの表示

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# show running-config callhome	Smart Call Home プロファイルが表示されます。

スマートソフトウェアライセンスの設定

この項の手順に従って、スマートソフトウェアライセンスを有効にし、スマートアカウントを使用するようにデバイスを登録し、デバイスの登録と認証を更新します。



- (注) リリース 10.2(1)以降、ポリシーを使用したスマートライセンスはデフォルトで有効になっています。従来のライセンスモデルとスマートライセンスモデルのサポートは終了します。『[ポリシーを使用した Cisco Nexus 9000 および 3000 シリーズ NX-OS スマートライセンスユーザーガイド](#)』を参照してください。

スマートソフトウェアライセンスの有効化と無効化

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal 。	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	次のコマンドのいずれかを使用して、スマートソフトウェアライセンスを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> switch(config)# [no] license smart enable switch(config)# [no] feature license smart 	スマートソフトウェアライセンスを有効にし、従来のライセンスを無効にします。すべてのライセンス要求が CSSM を通過します。 このコマンドの no バージョンは、スマートソフトウェアライセンスを無効にします。

デバイスの登録

スマートアカウントを使用するようにデバイスを登録できます。各デバイスを登録する必要があるのは1回だけです。

始める前に

- スマートソフトウェアライセンスが有効であることを確認します。
- スマートアカウントへのデバイスの登録に使用するトークンがあることを確認します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch # license smart register idtoken <i>token</i> [force]	トークンを使用してスマートアカウントにデバイスを登録します。CSSMは、シスコへの登録情報を30日ごとに自動的に更新します。 (注) デバイスの登録を解除するには、 license smart deregister コマンドを使用します。

デバイス登録と認証の更新

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# license smart renew id	デバイスの登録を更新します。
ステップ 2	switch# license smart renew auth	デバイス認証を更新します。

スマート ソフトウェア ライセンシングの確認

次のコマンドを使用して、スマート ソフトウェア ライセンシングを確認します。

コマンド	目的
show license all	すべてのスマート ライセンス情報を表示します。
show license status	スマート ライセンスのステータスを表示します。
show license summary	スマートライセンスの登録、許可、および権限付与の概要を表示します。
show license tech support	ライセンス テクニカル サポート情報を表示します。
show license udi	スマート ライセンスで使用されるデバイス ID を表示します。
show license usage	スマートライセンスの認証、権限、バージョン、およびステータス情報を表示します。



- (注) デバイスがスマートソフトウェアライセンスを使用している場合、従来のライセンスのシステムメッセージが表示されることがあります。デバイスでスマートソフトウェアライセンスを使用している場合は、次のようなメッセージを無視できます。
「LIC_MISSING_WARNING: A feature that requires *license-name* license is not installed.」

スマートソフトウェアライセンスの確認の例

以下の例は、スマートソフトウェアライセンスを確認する方法を示します。

```
switch# show license status
```

```
Smart Licensing is ENABLED
```

```
Registration:
```

```
Status: REGISTERED
Smart Account: Cisco Systems, Inc.
Virtual Account: NexusSmartLicensing_Test
Export-Controlled Functionality: Allowed
Initial Registration: SUCCEEDED on Nov 12 10:43:33 2019 UTC
Last Renewal Attempt: None
Next Renewal Attempt: Jun 16 10:43:32 2019 UTC
Registration Expires: Nov 12 08:07:20 2019 UTC
```

```
License Authorization:
```

```
Status: AUTHORIZED on Nov 12 10:43:48 2019 UTC

Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Nov 12 10:43:48 2019 UTC
Next Communication Attempt: Jun 16 10:43:47 2019 UTC
Communication Deadline: Nov 12 08:07:20 2019 UTC
```

```
switch# show license summary
```

```
Smart Licensing is ENABLED
```

```
Registration:
```

```
Status: REGISTERED
Smart Account: Cisco Systems, Inc.
Virtual Account: NexusSmartLicensing_Test
Export-Controlled Functionality: Allowed
```

```
License Authorization:
```

```
Status: AUTHORIZED on Dec 14 10:43:48 2019 UTC

Last Communication Attempt: SUCCEEDED
Next Communication Attempt: Jun 16 10:43:47 2019 UTC
Communication Deadline: Nov 12 08:07:20 2019 UTC
```

```
switch# show license all
```

```
Smart Licensing Status
=====
Smart Licensing is ENABLED
```

```
Registration:
```

```
Status: REGISTERED
Smart Account: Cisco Systems, Inc.
Virtual Account: NexusSmartLicensing_Test
Export-Controlled Functionality: Allowed
Initial Registration: SUCCEEDED on Nov 12 10:43:33 2019 UTC
Last Renewal Attempt: None
Next Renewal Attempt: Jun 16 10:43:32 2019 UTC
Registration Expires: Nov 12 08:07:20 2019 UTC

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED
  Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Nov 12 10:43:48 2019 UTC
  Next Communication Attempt: Jun 16 10:43:48 2019 UTC
  Communication Deadline: Nov 12 08:07:21 2019 UTC

License Usage
=====

Product Information
=====
UDI: SN:AB123456789

Agent Version
=====
Smart Agent for Licensing: 1.6.6_rel/88

switch# show license tech support

Smart Licensing Status
=====
Smart Licensing is ENABLED

Registration:
  Status: REGISTERED
  Smart Account: Cisco Systems, Inc.
  Virtual Account: NexusSmartLicensing_Test
  Export-Controlled Functionality: Allowed
  Initial Registration: SUCCEEDED on Nov 12 10:43:33 2019 UTC
  Last Renewal Attempt: None
  Next Renewal Attempt: Jun 16 10:43:32 2019 UTC
  Registration Expires: Nov 12 08:07:20 2019 UTC

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED on Nov 12 10:43:48 2019 UTC

  Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Nov 12 10:43:48 2019 UTC
  Next Communication Attempt: Jun 16 10:43:47 2019 UTC
  Communication Deadline: Nov 12 08:07:20 2019 UTC

Evaluation Period:
  Evaluation Mode: Not In Use
  Evaluation Period Remaining: 89 days, 23 hours, 59 minutes, 7 seconds

License Usage
=====

Product Information
=====
UDI: SN:AB123456789

Agent Version
=====
Smart Agent for Licensing: 1.6.6_rel/88
```

```
Upcoming Scheduled Jobs
=====
Current time: Nov 12 08:44:44 2019 UTC
IdCert Expiration Warning: Oct 15 08:07:20 2019 UTC (303 days, 23 hours, 22 minutes, 36 seconds remaining)
Daily: Oct 15 10:26:50 2019 UTC (1 hours, 42 minutes, 6 seconds remaining)
Certificate Renewal: Jun 16 10:43:32 2019 UTC (179 days, 1 hours, 58 minutes, 48 seconds remaining)
Reservation configuration mismatch between nodes in HA mode: Not Available
Certificate Expiration Check: Nov 12 08:07:20 2019 UTC (363 days, 23 hours, 22 minutes, 36 seconds remaining)
Authorization Renewal: Jun 16 10:43:47 2019 UTC (29 days, 1 hours, 59 minutes, 3 seconds remaining)
Authorization Expiration Check: Nov 12 08:07:20 2019 UTC (363 days, 23 hours, 22 minutes, 36 seconds remaining)
Init Flag Check: Not Available
Register Period Expiration Check: Not Available
Ack Expiration Check: Not Available

License Certificates
=====
Production Cert: True
PIID:

Licensing Certificated:

  Id certificate Info:
    Start Date: Nov 12 08:07:22 2019 UTC
    Expiry Date: Nov 12 08:07:22 2019 UTC
    Version Number: 3
    Serial Number: 123456
    Common Name: 9c172927d1806d05694c1f434b40ec0fbef93abb::2

  Signing certificate Info:
    Start Date: Aug 11 19:05:34 2019 UTC
    Expiry Date: Nov 12 07:00:15 2069 UTC
    Version Number: 3
    Serial Number: 3
    Common Name: MMI Signer

  Sub CA Info:
    Start Date: Sep 11 19:06:30 2019 UTC
    Expiry Date: Dec 7 07:00:15 2069 UTC
    Version Number: 3
    Serial Number: 2
    Common Name: Smart Licensing CA

  Root Cert Info:
    Start Date: Jun 30 19:48:47 2019 UTC
    Expiry Date: Dec 7 07:00:15 2069 UTC
    Version Number: 3
    Serial Number: 1
    Common Name: Cisco Licensing Root CA

HA Info
=====
RP Role: Active
Chassis Role: Active
Behavior Role: Active
RMF: True
CF: True
CF State: Stateless

Other Info
```

```
=====
Software ID: regid.2015-09.com.cisco.Nexus_9000,1.0_6e2b6ed8-fe9b-48e0-a71f-74ea
flbcc991
Agent State: authorized
TS enable: True
Transport: Callhome
Locale: C
Debug flags: 0x7
Privacy Send Hostname: True
Privacy Send IP: True
Build type:: Production
sizeof(char) : 1
sizeof(int) : 4
sizeof(long) : 4
sizeof(char *) : 4
sizeof(time_t): 4
sizeof(size_t): 4
Endian: Little
Write Erase Occurred: False
XOS version: 0.11.0.0
Reservation enable: False
Reservation in progress: False
Reservation type: None
Reservation request code: <empty>
Reservation authorization code: <empty>
Reservation return code: <empty>
Config Persist Received: True
Message Version: 1.1
```

```
switch# show license udi
```

```
UDI: SN:AB123456789
```

```
switch# show license usage
```

```
License Authorization:
  Status: AUTHORIZED on Nov 12 08:45:50 2019 UTC

(LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG):
  Description: LAN license for Nexus 9000 Platforms
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: AUTHORIZED
```

```
switch# show running-config callhome
```

```
!Time: Thu Nov 12 08:55:26 2019

version 9.3(3)
callhome
  email-contact sch-smart-licensing@cisco.com
  destination-profile CiscoTAC-1 transport-method http
  destination-profile CiscoTAC-1 http https://tools.cisco.com/its/service/odcde/
services/DDCEService
  transport http use-vrf management
  enable
```

スマートソフトウェアライセンスの設定の例

この例では、シスコポータルでデバイスを登録して、スマートソフトウェアライセンスを有効にする方法を示します。



(注) デバイスの登録中に問題を避けるため、デバイスを登録する前に、ネームサーバが到達可能であるかどうか必ず確認します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# ip domain-lookup
switch(config)# ip domain-name cisco.com
switch(config)# ip name-server 171.70.168.183 use-vrf management
switch(config)# vrf context management
switch(config-vrf)# ip domain-name cisco.com
switch(config-vrf)# ip name-server 171.70.168.183
switch(config-vrf)# exit
switch(config)# callhome
switch(config-callhome)# transport http use-vrf management
switch(config-callhome)# exit
switch(config)# feature license smart
```

以下の例は、スマートソフトウェアライセンスを無効化する方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature license smart
```

以下の例は、デバイスを登録する方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# license smart register idtoken sampletokenID
register status: Registration process is in progress. Use the 'show license status'
command to check the progress and result
```

以下の例は、デバイスを登録解除する方法を示します。

```
switch# license smart deregister
```

次に、Smart Call Home 設定の一部として CSSM オンプレミスの URL を提供する方法を示します。

```
callhome
  contract-id <contract-id>
  customer-id <customer-id>
  site-id <site-id>
  email-contact <email>
  phone-contact <phone>
  streetaddress <street address>
  destination-profile CiscoTAC-1 transport-method http
  destination-profile CiscoTAC-1 index 1 http
https://<CSSM-On-Prem-IP>/Transportgateway/services/DeviceRequestHandler
transport http use-vrf management
enable
```

スマート ソフトウェア ライセンシングの使用例

シナリオ 1

1. Cisco Nexus 3000 または 9000 シリーズ スイッチ（ライセンス付き）を構成し、出荷前にハードウェアに事前インストールされる Cisco NX-OS のリリースを選択します。



(注) ハードウェアに事前インストールされているライセンスをスマートライセンスに変換するには、[License Registration Portal](#) に移動して、スマートアカウントの設定を行ってからライセンスを変換します。

2. [Manage] セクションで [Devices] タブをクリックします。対応するデバイス ID をクリックして、[Device ID] ドロップダウンリストから [Convert to Smart Entitlements] を選択します。そうすることで、スイッチに事前インストールされているすべてのライセンスがスマートライセンスに変換されます。このタスクは、スマートライセンスに変換するスイッチごとに実行する必要があります。
3. サービスにより、変換を処理する前にスイッチ上のライセンスの Stock Keeping Units (SKU) がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証されます。
4. スイッチ上のスマートモードを有効にし、スマートライセンスを使用します。

シナリオ 2

1. Cisco Nexus 3000 または 9000 シリーズ スイッチ（ライセンス付き）を構成し、出荷前にハードウェアに事前インストールされる Cisco NX-OS のリリースを選択します。
2. スイッチを Cisco NX-OS Release 9.3(3) 以降のリリースにアップグレードします。



(注) ハードウェアに事前インストールされているライセンスをスマートライセンスに変換するには、[License Registration Portal](#) に移動して、スマートアカウントの設定を行ってから変換を実行します。

3. [Manage] セクションで [Devices] タブをクリックします。対応するデバイス ID をクリックして、[Device ID] ドロップダウンリストから [Convert to Smart Entitlements] を選択します。そうすることで、スイッチに事前インストールされているすべてのライセンスがスマートライセンスに変換されます。このタスクは、スマートライセンスに変換するスイッチごとに実行する必要があります。
4. サービスにより、変換を処理する前にスイッチ上のライセンスの SKU がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証されます。
5. スイッチ上のスマートモードを有効にし、スマートライセンスを使用します。

シナリオ 3

1. 予備のライセンス SKU を発注し、Cisco Commerce Workspace (CCW) でスマートアカウントを注文に関連付けないことにします。



(注) スマートソフトウェアライセンスを使用する前に、スマートアカウントを設定する必要があります。

2. PAK を注文し、スマートアカウントにロードします。
3. License Registration Portal サービスは、予備のライセンス SKU がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証します。
4. Smart Software Manager (SSM) により、ご使用のスマートアカウントに従来のライセンスまたはスマートライセンスとして履行できるライセンスがあることが電子メールで通知されます。
5. SSM で PAK をスマートライセンスとして指定します。
6. Cisco NX-OS リリース 9.3(3) またはそれ以降のリリースがスイッチ上にインストールされていることを確認し、スマートモードを有効にして、スマートライセンスを使用して開始します。

シナリオ 4

1. 予備のライセンス SKU を発注し、CCW でスマートアカウントを注文に割り当てます。
2. 既存の License Registration Portal サービスは PAK を LRP スマートアカウントに自動デポジットします。
3. License Registration Portal サービスは、予備のライセンス SKU がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証します。予備のライセンス SKU がスマートライセンスにマッピングされている場合、サービスは CSSM に確認通知を送信します。
4. Smart Software Manager により、ご使用のスマートアカウントに従来のライセンスまたはスマートライセンスとして履行できるライセンスがあることが電子メールで通知されます。
5. SSM で PAK をスマートソフトウェアライセンスとして指定します。
6. Cisco NX-OS リリース 9.3(3) またはそれ以降のリリースがスイッチ上にインストールされていることを確認し、スマートモードを有効にして、スマートライセンスを使用して開始します。

スマートソフトウェア ライセンシングのその他の参考資料

表 1: シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
License Registration Portal (LRP) の資料	https://www.cisco.com/web/fw/tools/swift/xui/html/help.html
スマート アカウントおよびスマート ライセンス	https://forums.cisco.com/OperationsExchange/s/Training-Details?L1Category=Training&L2Category=CSE_End_Customer&L1CategoryPath=training
トレーニングとリソース	https://community.cisco.com/t5/smart-licensing-enterprise/software-on-demand-training-resources-for-customers/ta-p/3639797

スマート ソフトウェア ライセンシングの機能の履歴

機能名	リリース	機能情報
ポリシーを使用したスマートライセンス	10.2(1)	<p>ポリシーを使用した Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS スマート ライセンシング ガイド</p> <p>スマートアカウントおよびスマートライセンスに関する FAQ</p>
従来のライセンスのスマートライセンスへの変換—DLC(デバイス主導変換)	9.3(5)	従来のライセンスをスマート ライセンスに変換するためのデバイス主導変換 (DLC) のサポートが導入されました。
スマートソフトウェア ライセンシング	9.3(3)	この機能を Cisco Nexus 3000 および 9000 シリーズ スイッチで導入しました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。